

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 保 第 6 4 号 乙 保	氏 名	佐藤 優子
審査委員	主 査 近藤 和也 副 査 葉久 真理 副 査 森 健治		

題 目 Development and psychometric testing of the Professional Interpersonal Competency Assessment Scale for Novice nurses (PICASN)

(新人看護師の専門職としての対人能力評価尺度 (PICASN) の開発: 信頼性と内容妥当性の検証)

著 者 Yuko Sato, Yuko Yasuhara, Hirokazu Ito, Gil P. Soriano, Allan Paulo Blaquera, Rozzano C. Locsin, and Tetsuya Tanioka.

2023年11月オンライン掲載 Belitung Nursing Journal, 第9巻第6号, p619-626

要 旨 本研究は、日本の医療現場における文化的特徴に基づき、看護実践を行う専門職として新人看護師に求められる対人能力を評価するための「新人看護師の専門職としての対人能力評価尺度 (PICASN)」を開発し、信頼性と妥当性を検証することを目的とした。

3～5年の経験がある先輩看護師が新人看護師に求める対人能力の質的研究の結果と文献検討に基づき42項目の質問紙を作成した。次に、臨床看護師や看護系大学教員10名によって42項目の質問紙の内容妥当性を検証した。その後、中国・四国地方19病院の1～2年目の新人看護師797名に調査を依頼し、203名のデータを分析対象とした。探索的因子分析により2因子構造27項目であることが明らかになった。内的一貫性および尺度全体の信頼性も高かった。

PICASNは、先輩看護師が新人看護師に求める対人能力を含んだ独自の尺度であり、チーム医療の中で新人看護師に求められる専門職としての対人能力も測定できる尺度である。

本結果は、今後の新人看護職者の離職予防や職場における対人関係の課題を考えるうえで、その社会的意義は大きく博士の学位授与に値すると判定した。